



校長室だより

校長 山崎 聡子

進級おめでとうございます

4月8日(月)、第1学期始業式を行いました。一人一人が進級し、学年が一つ上がったことの喜びに満ちあふれた表情をしている子供たち。新たな先生、新たな仲間との出会いにわくわくする気持ちをもちながら、登校してきたことと思います。

元気に挨拶する子供たちと言葉を交わしながら、前を向いて進んでいこうとする子供たちの成長を支えたいと心から思いました。

さて、子供たちのより良い成長を願い、今年度の重点目標を「温かな関わり合いを通して、みんなで成長できる児童の育成」とし、年度当初、教職員全員で共有しました。温かな関わり合いを創り出すために必要なことは、まずは言葉づかいからであると考えています。

始業式では、子供たちに「ひとつのことば」という詩を紹介しました。

「ひとつのことば」 北原白秋
ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなかおり
ひとつのことばで 頭が下がり
ひとつのことばで 心が痛む
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに
ひとつの心を もっている
きれいなことばは きれいな心
やさしいことばは やさしい心
ひとつのことばを大切に
ひとつのことばを美しく

言葉の大切さ、言葉と心のつながりを端的にわかりやすく表現している、とてもすてきな詩です。

自分が言われて嬉しい言葉は何か、自分が言われて嫌な言葉は何か、自分の頭でよく考えて言葉を使うこと、「温かな言葉、優しい言葉、きれいな言葉」を大切にして、温かな気持ちで過ごせるすてきな学校をみんなで創っていきましょと話しました。

詩の中にもあるように、言葉には心が表れます。いつも心が満たされていれば、良い言葉が自然と出てくるだろうと思います。しかし、私たちは、日々起こる出来事に対して、様々な感情がうまれてきます。人は完璧ではありませんし、弱さを抱えているがゆえ、いつも穏やかな気持ちでいられるわけではありません。だからこそ、「言葉を大切にする」ことをみんなで意識していくことを大切にしていきたいと思います。自分一人ではできないことも、つながりの中で、お互いに良い言葉をかけ合い、伝え合うことで、自分の心も、周囲の人の心も、満たされた思いで包まれていけるよう、温かな関係性を築いていきたいと考えています。互惠関係の中で、成長できるよう、子供たちを支えてまいります。

温かな言葉、優しい言葉、きれいな言葉について、御家庭でも話題にしていただけましたら幸いです。

本日の着任式では、新たな教職員を紹介し、新体制でのスタートをきりました。今年度も、保護者の皆様や地域の皆様と協働しながら、教育活動を進めてまいりたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。